

特定非営利活動法人

建築設備コミッショニング協会

(Building Services Commissioning Association)

第 2 1 期通常総会資料

【1】法人の概要

【2】議事資料

第 1 号議案「第 21 期事業報告及び収支決算に関する事項」

第 2 号議案「第 22 期事業計画(案)及び予算(案)に関する事項」

第 3 号議案「役員の選任に関する事項」

【3】報告事項

日 時：2025 年 5 月 28 日（水）14:00～

場 所：TKP 新橋カンファレンスセンター ホール 15B

（同時 Web 配信）



特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会

【1】法人の概要

名称：特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会
(Building Services Commissioning Association, BSCA)

設立日(設立総会) : 2004年3月19日
法人成立(内閣府) : 2004年8月9日
法人登記完了 : 2004年8月25日
名古屋事務所登記 : 2004年9月1日
事務所登記変更
従たる事務所設置
東京 : 2007年6月26日
京都 : 2007年6月26日
主たる事務所移転 : 2007年6月28日
従たる事務所移転
兵庫 : 2010年5月19日
主たる事務所移転 : 2013年5月15日
従たる事務所廃止 : 2013年5月15日
主たる事務所移転 : 2015年7月7日

役員

理事長 柳原隆司

副理事長 赤司泰義、奥宮正哉

理事 浅利直記、大石晶彦、上谷勝洋、澤地孝男、田上賢一、近本智行、馳平心、松下直幹、丸山直子

監事 高瀬知章、高橋直樹

会員数 (2025年3月31日現在)

個人正会員 227名

賛助会員 38団体 (内 大学 6校)、特別会員 5名

委員会組織

- ・企画・運営委員会：協会運営、普及啓発戦略立案、講演会・シンポジウムの企画、広報活動、会員増強
- ・認証検討委員会及び資格判定委員会：認証制度検討、資格制度検討、資格研修会・講習会運営、資格認定、資格登録
- ・事業委員会：研究調査、先導的 Cx 事業受託、Cx 費用ガイドライン検討
- ・技術委員会：技術支援、Cx プロセス・ツール研究

賛助会員一覧 (2025 年 3 月 31 日現在)

財団法人

ヒートポンプ・蓄熱センター

企業

アズビル、梓設計、安藤・間、エネゲート、大阪ガス、大林組、関西電力、
関電エネルギーソリューション、九電工、きんでん、きんでんスピネット、三機工業、
三建設備工業、三晃空調、JR 東日本ビルテック、新菱冷熱工業、ソーワエンジニアリング、
ダイキン工業、大成建設、ダイダン、高砂熱学工業、東京ガス、
東京電力エナジーパートナー、東京都市サービス、日建設計総合研究所、日本設計、
日本ファシリティ・ソリューション、Meinhardt Japan、三菱重工サーマルシステムズ、
森村設計
(五十音順)

大学

京都大学、東京大学、名古屋大学、中部大学、立命館大学、神戸大学(入会順)

官公庁

神奈川県立近代美術館

【2】議事資料

第1号議案「第21期事業報告及び収支決算に関する事項」

2024年度事業報告（2024年4月1日から2025年3月31日まで）

1. 事業の成果

人材育成事業については、CxPE（性能検証技術者）資格研修会の大阪での開催を実施し、13名の受講者が参加した。すべての受講者を修了試験にて合格と判定した。CxPE登録者の総計は2025年3月末で103名となっており、登録手続中の13名を含めて116名となる。CxTE（性能検証専門技術者）講習会はオンライン開催にて行い、29名が受講した。全員が全ての講義を受講してCxTEの講習修了証を授与した。CxTEの技術者登録は現在70名である。また、新たな試みとして、第1回CxTE実務講習会を実施し、4名が受講した。なお、Cxを業務として実施する組織（CxF: Commissioning Firm）の登録は、現在7社となった。

事例シンポジウムを東京、中部、関西で開催した。東京では2024年12月12日にBSCAシンポジウム in 東京「コミッショニングの推進を目指して」と題して、発注者や施工者といった立場からCxに携わった方々を講師に迎えて、「コミッショニング事例」について講演を行い、71名（内WEB31名）の参加があった。中部では2025年1月24日にシンポジウム in 中部「コミッショニング・プロセスの適用による運用エネルギーの適正化」についての講演後、パネルディスカッションを行い、Cx普及のため、Cxの内容とその効果の周知活動の必要性を確認した。会場参加とWEB併用のオンライン開催として75名（内WEB30名）の参加があった。関西では2025年2月6日にBSCAシンポジウム in 関西「コミッショニング事例紹介」を開催し、90名（内WEB47名）の参加があり、基調講演の後に、2つのCxプロジェクトについて詳細な事例報告があった。

総会は、実会合形式で行った。付帯行事の講演会では、Arup・菊地 雪代氏および東京大学生産技術研究所 大岡龍三教授を招き講演していただいた。総会後の技術交流会も開催し、会員間の交流を深める場となった。

性能検証普及事業については、当協会Webページを閲覧できないなどの不具合が発生したため、セキュリティ強化を含めたメンテナンス作業を行った。コミッショニングレターの発刊など、例年通りの広報活動も実施した。また、2025年2月28日に大阪において、Cx関係者や製造者が参加し、製品の認定化可能性などのテーマに座談会を行った。

調査研究及び技術支援事業については、IBECs「住宅・非住宅建築物の省エネルギー・脱炭素・室内環境のための技術体系に関する研究 ― 実証データに基づく技術開発プロジェクト（自立循環プロジェクトフェーズ8）― 未評価技術の省エネルギー設計・調整・試験方法に関する検討委員会」に参画し、Cx手法を適用した未評価技術に対する省エネルギー評価手法の検討を行った。また、国際交流では、APBCx（Asia Pacific Building Commissioning Symposium）について協議を行った。協議では、清華大学を中心に中国での開催を目指すことになったが、具体的なアクションにはつながっていない。

基準の制定及び検証事業については、2016年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」について、改訂第5版の編集作業を継続し、査読を経て完成に至った。加えて、会員への公開版としてどのような形式が望ましいか議論を行った。

共催・協賛事業については、地中熱利用促進協会主催の地中熱利用促進協会 設立20周年記念シンポジウム等の後援をしCxの発展に寄与した。

事務局WGでは、引き続き事務局体制の整備を行なった。

2. 事業実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容		実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業					会員、市民、建築関係者
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2024/12/13 ～ 2024/12/14	中央電気倶楽部 317号室	7名	13名
	b)	CxTE 講習	2024/7/19	オンライン開催	5名	29名
		CxTE 実務講習	2024/10/25	JR 東日本ビルテック(株)研修センター FMTEC	5名	4名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2024/4～2025/3	BSCA 事務所他	2名	—
	d)	事例シンポジウム	2024/12/12	ビジョンセンター浜松町グランデ 7 階 703 号室+WEB	10名	71名
			2025/1/24	ウインクあいち 11 階 1107 会議室+WEB	10名	75名
			2025/2/6	電気倶楽部ホール+WEB	10名	90名
	e)	ACSES/Cx パーソナルトレーニング	—	開催見送り	0名	0名
	f)	Cx マニュアル (CD) の頒布	2024/4～2025/3	BSCA 事務所	3名	30名
	g)	総会付帯講演会	2024/5/21	TKP 新橋カンファレンスセンター ホール 15C+WEB	10名	35名
h)	技術交流会	2024/5/21	同上	10名	31名	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2024/9/12	佐賀大学	1名	23名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業					会員、市民、建築関係者、不特定
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2024/4～2025/3	事務局	4名	約 100 名
	b)	ホームページの整備充実	2024/4～2025/3	事務局	4名	約 1000 名
	c)	コミッシュニングレターの発行	2024/4～2025/3	事務局	7名	約 200 名
	d)	空気調和・衛生工学会大会 ブース出展	2024/9/11～2024/9/13	佐賀大学 本庄キャンパス	3名	約 100 名
	e)	企画・運営委員会活動	2024/4～2025/3	BSCA 事務所他	31名	—

事業名	事業内容		実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業					会員、市民、建築関係者、不特定
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2024/4 ～2025/3	BSCA 事務所他	1 名	同上
	b)	技術委員会活動	2024/4 ～2025/3	東京	5 名	建築関係者
	c)	他団体との協働活動参画	2024/4 ～2025/3	東京	4 名	建築関係者
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業					会員、市民、建築関係者、不特定
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会	2024/4 ～2025/3	Web 会議他	22 名	
	b)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（施工フェーズ）	2022/7 ～2025/3	東京・Web 会議他	6 名	
	c)	R6 年度国土交通省 環境・ストック活用推進事業	2024/4 ～2025/3	Web 会議他	15 名	
	d)	事業委員会活動	2024/4 ～2025/3	BSCA 事務所他	12 名	
(5)共催・協賛事業		2024/4 ～2025/3			会員、市民、建築関係者、不特定	
他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。						

3. 事業の概要

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE 資格研修会を 2024 年 12 月 13 日～14 日に大阪にて開催した。13 名の受講者が参加した。すべての受講者を修了試験にて合格と判定した。新規受講者 13 名が登録手続中で CxPE 登録者は総計 116 名となる。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習、実務講習

2024 年 7 月 19 日に、第 13 回目となる CxTE 講習会を開催した。新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度も引き続きオンライン開催とした。

講習会には 29 名の受講者が参加し、全員に CxTE 講習の修了証を授与した。2024 年度に新たに CxTE 登録した会員は 4 名であり、累計で 70 名となった。

また、新たな試みとして、第 1 回 CxTE 実務講習会を 2024 年 10 月 25 日に JR 東日本ビルテック㈱の研修施設 FMTEC にて実施し、4 名が受講した。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

1) 認証検討委員会

第 13 回目となる CxTE（性能検証専門技術者）講習会を 7 月 19 日にオンラインで開催して、受講者 29 名が全ての講義を受講して、受講者全員に修了証を発行した。

2) 資格判定委員会

CxPE 資格研修会で使用する試験問題を決定し、資料の作成を行なった。研修会終了後は、CxPE 資格研修小委員会を開催し、採点を行なった。CxPE については、2025 年 3 月に外部委員を交えた資格判定委員会を開催し、2024 年度の CxPE の合否判定を行った。

d) Cx 事例シンポジウム

東京では 2024 年 12 月 12 日に、「2024 年度 BSCA シンポジウム in 東京 ―コミッショニングの推進を目指して―」と題したシンポジウムを開催した。宇宙開発をテーマとした高砂熱学工業 森田健氏による基調講演が行われ、その後は、第 1 回空気調和・衛生工学会コミッショニング賞を受賞した麻布台ヒルズのエネルギー供給プラント、四国地域の自治体施設、新菱冷熱工業様の研究所についての Cx 事例紹介を行った。ハイブリッド方式にて開催し、71 名（内 WEB 31 名）の参加があった。

中部では 2025 年 1 月 24 日に、「2024 年度 BSCA シンポジウム in 中部 ―コミッショニング・プロセスの適用による運用エネルギーの適正化―」と題したシンポジウムを開催した。建物所有者、地方自治体、設計者、施工者、メンテナンス会社、地元企業など、Cx プロセスに関わる様々なステークホルダーに対し、名古屋市立大学 太幡英亮教授による基調講演があり、後半は、新築公共建築の Cx 事例と建物所有者の視点から見る Cx の進め方の 2 講演が行われ、パネルディスカッションでは関連な意見交換がなされた。75 名（内 WEB 30 名）の参加があった。

関西では、2025 年 2 月 6 日に大阪市内の中央電気倶楽部にて「BSCA シンポジウム in 関西―コミッショニング事例紹介―」が開催され、現地参加 43 名、WEB 視聴 47 名の計 90 名が参加しました。吉田治典京都大学名誉教授による基調講演では、建築物の省エネ性能評価における実性

能評価の重要性が指摘されました。また、東急電鉄駒沢大学駅と神戸須磨水族園建替プロジェクトにおいて、CxPE が主導する 2 つの Cx 事例が報告され、各プロジェクトの成果や課題が共有されました。さらに、「よい Cx とは」をテーマに効果的なチームづくりに関する講演が行われました。最後のパネルディスカッションでは、現地・WEB 双方からの質問を受け、活発な意見交換が行われました。

e) ACSES/Cx パーソナルトレーニング

Cx に活用するという視点で開発されたシミュレーションツール ACSES/Cx (Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning) に関するパーソナルトレーニング講習を実施する予定であったが、諸般の事情により次年度に先送りすることになった。

f) Cx マニュアル (CD) の頒布

2020 年 10 月発行「建築設備コミッショニングマニュアル」改訂第 4 版の販売を継続した。さらに、2025 年 3 月 27 日に改訂第 5 版の編纂を完了した。

g) 総会付帯行事としての講演会

2024 年 5 月 21 日の総会後に、オンライン併用のハイブリッド形式で講演会を開催した。

Arup 菊地雪代氏「サーキュラーエコノミー時代の建築」、東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門・大岡龍三教授「AI 時代におけるコミッショニング」の 2 題の講演を行った。

h) 技術交流会

2024 年 5 月 21 日の総会・講演会の後に、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を開催した。来賓の方々からの挨拶の他、2024 年度の新 CxPE の代表者から抱負表明等も行われ、終始和やかに会員間で情報交流や交歓が図られた。

i) Cx に関心を持つ者の集い

2024 年 9 月 12 日に「コミッショニングに関心を持つ者の集い」を、空気調和衛生工学会大会 (佐賀) 2 日目に企画した。参加者は大学関係者 6 名、行政関係者 1 名、民間企業関係者 16 名の合計 23 名での開催となった。

(2) 性能検証普及事業(企画・運営委員会)

a) CxPE のフォーラム活動

CxPE としての活動の活性化を図ることを目的とした座談会を開催した。2025 年 2 月 28 日に大阪市内の中央電気倶楽部において、Cx 関係者や製造者が参加し、製品の推奨制度の可能性などをテーマに座談会を開催した。

b) ホームページの整備充実

ホームページの部分的なリニューアルを行った。また、特定ページからダウンロードができない、ページを閲覧できないなどの不具合が発生したため、セキュリティ強化を含めて「http→https」改修を実施した。

c) コミッショニングレターの発行

Cx 関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッショニングレターの月 1 回発行を継続した。

d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会が 9 月 11 日~13 日に佐賀大学で開催され、技術展示会場に協会展示ブースを出展し、広報活動を行った。今回より、従来のパネル展示に加えて、モニターによるデジタル展示を行った。

e) 企画・運営委員会活動

委員会を年 6 回開催し、下記活動の実施内容について審議してそれぞれの活動に繋げた。

1) 会員特典の整備

会員限定の情報提供（Cx 文書事例、Cx ツールなど）を検討した。

2) CxTE 登録者の促進と CxF の登録の促進

CxTE 講習会を例年通り開催して、登録者の促進を図った。また、Cx 事例シンポジウムの発表などにおいて、CxF 登録制度を紹介して登録を働きかけ、賛助会員の増加を図った。

3) 各種団体への Cx の普及活動

国土交通省の支援・協力のもと、建物所有者に Cx の有用性を理解頂き、Cx プロセスを既存建物に活用していただくための「建物所有者向けの建築設備コミッショニングガイドライン（パンフレットを含む）」を作成し、ホームページに掲載した。また、その趣旨・内容を説明するためのシンポジウムを 2025 年 3 月 5 日に東京大学山上会館にて開催し、オンライン参加を含め 224 名の参加を得た。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

中国・清華大学の朱先生、魏先生、王先生が 2024 年 4 月 19 日に東京大学赤司研究室を訪問し、APBCx (Asia Pacific Building Commissioning Symposium、隔年開催) について協議を行った。協議では、清華大学を中心に中国での開催を目指すことになったが、具体的なアクションにはつながっていない。APBCx はアジア・太平洋地域の国・地域が取り組んでいる Cx の事例、研究、事業、規制などの情報を共有し、それぞれの商習慣に適した Cx の仕組みの構築や普及につなげ、建築物の省エネルギーやカーボンニュートラルの実現に寄与することを目的として 2021 年にリモート開催したが、コロナ禍が明けた後で継続できていない。

また、国際エネルギー機関 IEA の研究活動である、IEA/EBC/ Annex81: 「Data-Driven Smart Building (データ駆動型スマートビルディング)」の日本委員会(委員長: 赤司泰義(東京大学)、当協会副理事長)に当協会から幹事委員として松下直幹氏を派遣し、研究支援を行った。IEA の Annex81 については 2024 年が最終の報告書作成期間だが 2025 年 3 月時点で未完成である。IBECs の日本委員会は 2023 年度末で終了したが、2024 年度は委員長・幹事で情報収集に努め、2025 年 3 月 10 日に東京大学赤司研究室主催で日本委員会の元委員を中心に公開の最終報告会を実施した。

b) 技術委員会

省庁、自治体、関係業界団体等の各所へのコミッションングとは何か、カーボンニュートラルに向けての必要性などを説明し理解を深めていただくために作成した「カーボンニュートラル達成へ向けたコミッションング(Cx)のススメ」(2023 年 8 月発行)の活用と、ホームページやシンポジウム等で「Cx 事例の紹介」を展開した。

c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所(建研)および一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター(IBECs)が企画・運営する「住宅・非住宅建築物の省エネルギー・脱炭素・室内環境のための技術体系に関する研究 ― 実証データに基づく技術開発プロジェクト(自立循環プロジェクトフェーズ 8) ― 未評価技術の省エネルギー設計・調整・試験方法に関する検討委員会」に、当協会から吉田名誉理事長が委員長として、また柳原理事長、赤司副理事長、松下理事の 3 名および会員の山田博氏の 1 名が委員として参画し、Cx 手法を適用した未評価技術に対する省エネルギー評価手法の検討を行った。

本委員会の前身である初期調整委員会で取りまとめた「VWV システムの技術解説書」に基づく任意評定が 2025 年度から開始されることから、2024 年度にはその準備を進めるとともに、変風量空調システム(VAV システム)の技術解説書を作成した。更に、次テーマである CO₂ 濃度制御の技術解説書の作成に着手した。

(4) 基準制定・検証事業

a) 建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会

2016 年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」について、次世代を担う新任の編集委員の参画を求めて、改訂第 5 版の編集作業を行い、査読を経て完成に至った。また、実際のコミッショニングで作成された各種文書を抽出し、会員への公開版としてどのような形式が望ましいか議論を行った。

b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（施工フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2022 年 7 月～2025 年 3 月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の試運転調整の確認、機能性能試験を実施した。ホームの環境改善、約 60%の省エネルギーが確認された。

c) R6 年度国土交通省 環境・ストック活用推進事業（調査、普及・広報に関する事業）

- ・ 委託機関：国土交通省
- ・ 事業実施：2024 年 4 月～2025 年 3 月
- ・ 担当者：赤司 泰義（委員長）、木虎 久隆（事務局長）、高瀬 知章（幹事）、山口 弘雅（幹事）、浅利 直記（部会①主査）、百田真史（部会②主査）、奥宮 正哉（部会③主査）、馳平 心（部会①幹事）、山田 一樹（部会②幹事）、高草 智（部会③幹事）、天野 雄一郎、小野島 一、高橋 信博、松下 直幹、宮田征門、湯澤 秀樹、柳原 隆司

本事業は、住宅・建築物に係る先導的な技術の普及啓発に関する調査、普及の推進を目的とする補助事業であり、BSCA は、建物所有者向けの Cx ガイドラインを作成・活用することによる建築ストックのカーボンニュートラル化に資する事業を提案し、採択された。既存建物の省エネ・省 CO2 対策に係るニーズ調査や事例調査に基づく各種分析等をもとに「建物所有者向けの建築設備コミッショニングガイドライン」の作成を行った。更に、その成果を周知するためシンポジウムを開催（2025 年 3 月 5 日 224 名参加）し、作成したガイドラインは 2025 年 3 月 25 日より当協会ホームページにて公開した。これらにより、建物所有者の Cx の有効性の理解を深めることにより、既存建物における Cx の普及に貢献した。

d) 事業委員会

当協会に寄せられる Cx プロジェクトの相談対応方法について議論を行った。また、紹介可能な CxF を増やすための登録要件の見直しに着手した。

(5) 共催・協賛事業

a) 共催、協賛

b) 後援

- ・後援事業：特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会主催
「地中熱利用促進協会 設立 20 周年記念シンポジウム」 2024 年 10 月 17 日
- ・後援事業：日本建築学会主催第 20 回 建築設備シンポジウム
「環境建築と五感に訴えるリジェネラティブデザイン」 2024 年 11 月 22 日
- ・後援事業：一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター
「自立循環プロジェクト 関連講習会」 2025 年 1 月 16 日

(6) 理事会

理事会を 7 回開催し、総会付議事項、定款変更の検討、理事の互選による理事長、副理事長の選出、建物所有者への Cx 推進の展開方法について審議し、方針を決定した。

4. 会計収支決算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2024年度正味財産増減計算書

建築設備コミッションング協会

2024年4月1日から2025年3月31日まで

（単位：円）

科 目	2024年度予算執行	2024年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
I 経常収益				
1 受取会費				
入会金収入	95,000	65,000	30,000	
正会員受取会費	2,270,000	2,250,000	20,000	
賛助会員受取会費	5,500,000	5,100,000	400,000	
計	7,865,000	7,415,000	450,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
計	0	0	0	
4 事業収益				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	840,000	560,000	280,000	
CxTE研修会(東京・WEB)	275,000	365,000	-90,000	
CxTE研修会(実務)	400,000	700,000	-300,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	693,000	550,000	143,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	530,000	610,000	-80,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	346,000	560,000	-214,000	
ACSESS/Cxワークショップ	0	240,000	-240,000	
マニュアルの頒布	142,250	200,000	-57,750	
技術交流会	384,000	150,000	234,000	
Cx 集い	0	200,000	-200,000	
小計	3,610,250	4,135,000	-524,750	
2. 普及事業	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	
技術委員会	0	0	0	
小計	0	0	0	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	8,400,000	12,000,000	-3,600,000	
既存建物省エネルギー省Co2	19,796,741	20,000,000	-203,259	
小計	28,196,741	32,000,000	-3,803,259	
5. その他				
小計	0	0	0	
計	31,806,991	36,135,000	-4,328,009	
5 その他収益				
受取利息	8,855	374	8,481	
雑収益	0	0	0	
計	8,855	374	8,481	
経常収益計	39,680,846	43,550,374	-3,869,528	

科 目	2024年度予算執行	2024年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
Ⅱ 経常費用				
1 事業費				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	436,365	1,060,000	-623,635	
CxPE座談会	182,593	216,000	-33,407	
CxTE研修会(東京ZOOM)	79,010	300,000	-220,990	
CxTE研修会(実務)	377,914	690,000	-312,086	
Cx事例シンポジウム(関西)	486,639	520,000	-33,361	
Cx事例シンポジウム(東京)	262,426	300,000	-37,574	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	4,473	2,500	1,973	
Cx事例シンポジウム(中部)	284,606	420,000	-135,394	
ACSES/Cx公開ワークショップ	0	225,000	-225,000	
マニュアルの頒布	1,030	100,000	-98,970	
総会付帯講演会	90,330	60,000	30,330	
技術交流会	461,390	230,000	231,390	
Cx 集い	20,165	200,000	-179,835	
資格判定委員会	317,681	360,000	-42,319	
計	3,004,622	4,683,500	-1,678,878	
2. 普及事業				
ホームページ	349,165	670,000	-320,835	
コミッションングレターの発行	90,330	210,000	-119,670	
空調調和・衛生工学会大会ブース出展	102,135	180,000	-77,865	
CxF登録制度小委員会	0	50,000	-50,000	
企画・運営委員会及び広報担当	233,500	200,000	33,500	
計	775,130	1,310,000	-534,870	
3. 研究・支援事業				
海外調査	0	200,000	-200,000	
技術委員会	312,310	2,000,000	-1,687,690	
計	312,310	2,200,000	-1,887,690	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	6,336,513	16,200,000	-9,863,487	
既存建物省エネルギー省Co2	19,796,741	20,000,000	-203,259	
事業委員会	1,124,885	1,140,000	-15,115	
マニュアル校正	464,200	700,000	-235,800	
計	27,722,339	38,040,000	-10,317,661	
5. その他				
計	0	0	0	
事業費計	31,814,401	46,233,500	-14,419,099	

科 目	2024年度予算執行	2024年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
2 管理費				
旅費交通費	208,259	200,000	8,259	
通信運搬費	922,020	860,000	62,020	
消耗品費	57,161	100,000	-42,839	
什器備品	0	100,000	-100,000	
会議費	270,629	350,000	-79,371	
印刷製本費	78,110	100,000	-21,890	
租税公課	217,931	586,092	-368,161	
支払手数料	73,315	120,000	-46,685	
雑給	0	0	0	
諸会費	100,000	100,000	0	
家賃	402,600	402,600	0	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	418,100	420,000	-1,900	
事務外注費	4,484,000	4,600,000	-116,000	
事務管理費	200,000	300,000	-100,000	
減価償却費	502,518	502,518	0	
管理費計	7,934,643	8,741,210	-806,567	
経常費用計	39,749,044	54,974,710	-15,225,666	
I, II 当期経常増減額	-68,198	-11,424,336	11,356,138	
III 経常外収益				
1 固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
III, IV 当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	-68,198	-11,424,336		
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000		
当期正味財産増減額	-138,198	-11,494,336		
前期繰越正味財産額	53,138,932	53,138,932		
次期繰越正味財産額	53,000,734	41,644,596		

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（貸借対照表）」）

2024年度 貸借対照表

建築設備コミッションング協会

2025年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額			備考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金及び預金	24,891,174			
売掛金／未収金	28,196,741			
棚卸資産	0			
貯蔵品	0			
前払費用	10,526			
未収入金	0			
流動資産合計		53,098,441		
2 固定資産				
(1) 有形固定資産				
什器備品	0			
減価償却累計額	0			
有形固定資産計	0			
(2) 無形固定資産				
ソフトウェア等	0			
無形固定資産計	0			
(3) 投資その他の資産				
敷金	0			
保証金	180,000			
長期前払費用	14,036			
投資その他の資産計	194,036			
固定資産合計		194,036		
資産合計			53,292,477	
II 負債の部				
1 流動負債				
未払費用	8,280			
前受会費	0			
預り金	283,463			
仮受金	0			
流動負債合計		291,743		
2 固定負債				
	0			
固定負債合計		0		
負債合計			291,743	
III 正味財産の部				
前期繰越正味財産		53,138,932		
税引後当期正味財産増減額		-138,198		
正味財産合計			53,000,734	
負債及び正味財産合計			53,292,477	

様式例（法第28条第1項「前事業年度の財産目録」）

2024年度 財産目録

建築設備コミッショニング協会

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額			備 考
I 資産の部				
1.流動資産				
現金預金				
手元現金	0			
三菱UFJ銀行普通預金	64			
三菱UFJ銀行普通預金	2,036,499			
ゆうちょ銀行普通預金	1,257,116			
三井住友銀行	11,907,097			
みずほ銀行	9,690,398			
現預金計	24,891,174			
未収金				
売掛金/未収金	28,196,741			
貯蔵品	0			
棚卸資産				
未収金計	28,196,741			
前払費用	10,526			
前払費用計	10,526			
仮払金	0			
仮払金計	0			
流動資産合計		53,098,441		
2.固定資産				
(1) 有形固定資産				
什器備品	0			
有形固定資産計	0			
(2) 無形固定資産				
ソフトウェアなど	0			
無形固定資産計	0			
(3) 投資その他の資産				
敷金	0			
保証金	180,000			ATC保証金
長期前払費用	14,036			
投資その他の資産計	194,036			
固定資産合計		194,036		
資産合計			53,292,477	
II 負債の部				
1.流動負債				
未払費用	8,280			
前受会費	0			
預り金				
源泉所得税預り金	283,463			
仮受金	0			
流動負債合計		291,743		
2.固定負債				
	0			
固定負債合計		0		
負債合計			291,743	
正味財産			53,000,734	

5. 監査報告

2024 年度の特定非営利活動法人 建築設備コミッショニング協会の事業報告、活動予算書及び財産目録等について、関係書類と共にその内容を監査した結果、法令及び定款に照らして、適正であることを認めます。

2025 年 4 月 22 日

監 事

高瀬 知章

高橋 直樹

第2号議案「第22期事業計画(案)及び 予算(案)に関する事項」

2025年度事業計画案(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

1. 事業実施の方針

会員と賛助会員組織に対して Cx に関する技術や Cx 事業を推進するための情報提供を行い、Cx を広めることにより社会に貢献する。2025 年度は下記の活動を計画する。

人材育成事業については、CxPE(性能検証技術者)資格研修会の東京開催を検討する。CxTE (性能検証専門技術者)講習会は WEB にて開催する。また、昨年度に新たな取り組みとしてスタートした CxTE 実務講習会については広く参加を呼び掛けて開催する予定である。

事例シンポジウムを関西、中部、東京で開催する。ここで紹介する Cx 事例に関しては、可能な限り収集データや実測データに基づいた図表により Cx 効果を見える化し、参加者にわかり易いものとする。

Cx での活用を目指して開発された空調システムエネルギーシミュレーションツール ACSES/Cx (Air-Conditioning System' s Energy Simulation for Commissioning) について、利用方法に関するワークショップを一昨年度に実施した。今年度は更なる理解度を深めるトレーニング講習を実施する予定である。

総会については実会合・オンライン併用のハイブリッド形式で行い、附帯事業の講演会および技術交流会を開催する。

性能検証普及事業については、当協会のホームページにおける Cx 技術資料等の会員向けコンテンツの充実を図る。昨年同様に、CxPE としての活動の活性化を目指して、CxPE 相互の意見交換のため座談会を開催する。コミッショニングレターの発刊は例年通り実施する。本年は、空気調和・衛生工学会大会でのコミッショニングの集いや学会ブース出展などを実施する。

調査研究及び技術支援事業については、Cx に関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。共同実施の中国、香港の関係団体との連携強化を図っていく。技術委員会活動としては、空気調和・衛生工学会の Cx 委員会や同小委員会と連携して Cx の普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し学会と連携してシンポジウムなどで公開する。

基準の制定及び検証事業については、Cx 業務の実例や経験を参考にして 2016 年度に発行した「建築設備コミッショニングマニュアル」の改訂第5版を発刊する。当協会に特命で依頼された先導的 Cx 業務の充実を図るとともに、調査研究業務を受託し、その活動成果やノウハウを Cx に関わる人材育成や実務資料の集成に活かすと共にシンポジウムなどを通じて公表する。

昨年度の国土交通省 環境・ストック活用推進事業の成果である「建物所有者向けの建築設備コミッショニングガイドライン」を活用し既存建物のコミッショニングを普及させるために、(1)建物所有者への Cx の広報、(2)建物所有者が Cx プロセスを実施する際のハードルの緩和策の検討、(3)Cx プロセスが普及するための Cx 資格者・事業者の拡充などの実施体制の強化を行う。

昨年度と同様、各理事の担当業務を明確にし、事業計画を理事が中心になり策定し、それを企画・運営委員会を通して実施するようガバナンス体制をより強固にする。

2. 事業実施計画に関する事項

特定非営利活動に係る事業（非営利活動）

事業名	事業内容		実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(1) 人材育成事業	セミナー開催等による性能検証に関する人材育成事業					会員、市民、建築関係者
	シンポジウムや意見交換会・講演会を開催し、性能検証に関わる人材の育成と情報を提供するために下記を実施する。					
	a)	CxPE 資格研修会	2025/12	東京開催	10 名	8 名
	b)	CxTE 講習	2025/8	オンライン開催	5 名	30 名
		CxTE 実務講習	2025/12	試験施設開催	5 名	7 名
	c)	認証検討委員会及び資格判定委員会活動	2025/4～2026/3	BSCA 事務所他	10 名	—
	d)	事例シンポジウム	2025/10	東京＋オンライン開催	10 名	90 名
			2026/1	中部＋オンライン開催	10 名	90 名
			2026/2	関西＋オンライン開催	10 名	90 名
	e)	ACSES/Cx パーソナルトレーニング	2025/10～2026/3	オンライン開催	3 名	10 名
	f)	Cx マニュアル（CD）の頒布	2025/4～2026/3	BSCA 事務所	3 名	30 名
g)	総会付帯講演会	2025/5	総会会場	10 名	40 名	
h)	技術交流会	2025/5	開催	10 名	20 名	
i)	Cx に関心を持つ者の集い	2025/9	香川大学	4 名	40 名	
(2) 性能検証普及事業	会誌・ホームページ等による性能検証普及事業					会員、市民、建築関係者、不特定
	定期的に会誌やホームページによる広報を行い、最新情報を提供するため下記を実施する。					
	a)	CxPE のフォーラム活動	2025/4～2026/3	事務局	4 名	約 100 名
	b)	ホームページの整備充実	2025/4～2026/3	事務局	4 名	約 1000 名
	c)	コミッショニングレターの発行	2025/4～2026/3	事務局	7 名	約 200 名
	d)	空気調和・衛生工学会大会ブース出展	2025/9	香川大学	3 名	約 100 名
	e)	企画・運営委員会活動	2025/4～2026/3	BSCA 事務所他	31 名	—
(3) 調査研究・技術支援事業	性能検証に関する調査研究及び技術支援事業					会員、市民、建築関係者、不特定
	実施マニュアルやツール等の整備を進め、同時に会員や一般市民への支援・広報を行う。公共的機関より性能検証、Cx 過程に関する調査・研究業務を受託し、人材育成と基準文書整備に活用する。					
	a)	海外調査・国際交流	2025/4～2026/3	BSCA 事務所他	1 名	同上
	b)	技術委員会活動	2025/4～2026/3	東京	5 名	建築関係者
	c)	他団体との協働活動参画	2025/4～2026/3	東京	4 名	建築関係者

事業名	事業内容		実施月日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
(4) 基準制定・検証事業	性能検証基準の制定及び性能検証事業					会員、市民、建築関係者、不特定
	マニュアル類の更なる向上と普及とを目指して、会員や一般市民等のための性能検証を実施する。					
	a)	建築設備コミッショニングマニュアル改訂委員会	2025/4 ～2026/3	Web 会議他	22 名	
	b)	田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッショニング（適正化フェーズ）	2022/7 ～2026/3	東京・Web 会議他	6 名	
	c)	R7 年度国土交通省 環境・ストック活用推進事業（調査、普及・広報に関する事業）	2025/4 ～2026/3	Web 会議他	15 名	
	d)	事業委員会活動	2025/4 ～2026/3	BSCA 事務所他	12 名	
(5)共催・協賛事業			2025/4 ～2026/3			会員、市民、建築関係者、不特定
他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。						

3. 活動計画の概要

非営利活動に関する活動計画の概要を述べる。

(1) 人材育成事業

a) CxPE（性能検証技術者）資格研修会

CxPE（性能検証技術者）資格研修会は、2025 年度については東京での開催を検討する。

b) CxTE（性能検証専門技術者）講習

CxTE（性能検証専門技術者）講習会は、受講者を全国から募ることも考慮して 2024 年度に引き続きオンラインによる講習を開催する。また、新たな取り組みとしてスタートした、実務講習については、広く参加を呼びかけて開催を予定する。

c) 認証検討委員会及び資格判定委員会活動

CxPE（性能検証技術者）の資格判定委員会を実施する。

d) Cx 事例シンポジウム

- ・ 東京では、Cx の普及展開を目指して、実際のプロジェクト案件を中心に事例紹介を中心としたシンポジウムを計画する。開催時期は 2025 年 10 月を予定している。
- ・ 中部では、Cx の普及を目指し、建物所有者、地方自治体、設計者、施工者、メンテナンス業者、地元企業など、Cx プロセスに関わる様々なステークホルダーに対し、Cx 事例を紹介し、プロセスの適用方法とその効果を説明し意見交換を行う。開催時期は 2026 年 1 月を予定している。
- ・ 関西では、CxPE 資格者が実施した Cx プロジェクトの事例を紹介するシンポジウムを開催する。開催時期は 2026 年 2 月を予定している。

e) ACSES/Cx パーソナルトレーニング

Cx に活用するという視点で開発されたシミュレーションツール ACSES/Cx (Air-Conditioning System's Energy Simulation for Commissioning) を 2 年前にオープンソースツールとして一般公開し、利用方法に関するワークショップを開催した。今年度は、MBD（モデルベースデザイン）を目指し、シミュレーションツールの理解度を深めるトレーニング講習を実施する。開催時期は 2025 年 10 月からとし、参加者 10 名程度を予定する。

f) Cx マニュアル（CD）の頒布

2025 年 3 月改訂が完了した「建築設備コミッショニングマニュアル」第 5 版を販売する。

g) 総会付帯行事としての講演会（2025 年 5 月）

総会後に、実会合と WEB での特別講演会を実施する。講演は、再エネ熱利用促進協議会 代表 笹田政克様 「再生可能エネルギー熱利用の現状と将来に向けて」および N 研究所(株)代表取締役・元岐阜大学教授 蛭川忠三様 「リアルタイム電力料金制へ適応するビルマルチ空調設備の AI 制御」を予定する。

h) 技術交流会

総会・講演会の後に、賛助会員会を兼ねた「技術交流会」を企画する。

i) Cx に関心を持つ者の集い

9 月に開催される空気調和・衛生工学会大会に合わせ「コミッショニングに関心を持つ者の集い」を開催し、会員の技術交流と会員増強の一助とする。

(2) 性能検証普及事業

a) CxPE のフォーラム活動

CxPE としての現在の活動の状況、今後の活躍の方向性等を意見交換し、CxPE としての活動の活性化を図ることを目的とした座談会を東京で開催する。

b) ホームページの整備拡充

定期的にホームページの部分的なリニューアルを実施する。今年度は、Cx 技術資料等の会員向けコンテンツの充実を行う。

c) コミッショニングレターの発行

Cx 関連の情報・動向を取材することに注力し、コミッショニングレターの月 1 回の発行を継続する。

d) 空気調和・衛生工学会大会ブース出展

空気調和・衛生工学会大会期間中に協会展示ブースを技術展示会場に出展し、広報活動を行う。昨年度に続き従来のパネル展示に加えて、ディスプレイを用いた動画展示を併せて実施する。

e) 企画・運営委員会活動

1) 会員特典の整備

会員に限定した情報提供（Cx 文書事例、Cx ツールなど）を検討する。

2) CxTE および CxF への登録の促進

Cx 事業の事例発表シンポジウムなどで CxTE および CxF の登録制度を広く紹介して登録を働きかけ、会員および賛助会員の増加を図る。

3) 各種団体への Cx の普及活動

- ・ Cx のさらなる認知度の向上を目指し、2024 年度の活動で作成しホームページへ掲載した「建物所有者向けの建築設備コミッショニングガイドライン（パンフレットを含む）」を建物所有者へ配布・解説する活動を行う。
- ・ CxF（コミッショニング事業者）が社会に定着することを目指し、各種団体に Cx 業務を実施する CxF の重要性を理解して貰う活動を行う。
- ・ 公共部門や民間の建築所有者に、カーボンニュートラル事業に Cx プロセスが有効であることを説明し、カーボンニュートラル事業の施策の策定や運用に対するアドバイスを積極的に行う。

(3) 調査研究・技術支援事業

a) 海外調査・国際交流

Cxに関する国際会議への参加者や海外在住者による情報収集活動を支援する。Cxに関する国際会議（例えば、全米コミッショニング会議（NCBC）など）の開催案内や、それらの会議への参加者から報告をコミッショニングレターに掲載し会員へ情報提供することに努める。また、海外のCx組織（例えば、米国コミッショニング協会（BCA）など）との連携活動を検討する。Asia Pacific Building Commissioning Symposium（APBCx）はBSCAが主催・共催する隔年の国際会議であるが、継続実施できていない。APBCxの実施に向けて共同実施の中国、香港の関係団体との連携強化を図っていく。

b) 技術委員会活動

空気調和・衛生工学会のCx委員会や同小委員会と連携してCxの普及展開に必要な技術課題に取り組み、その成果をリソースとして整備し公開していく。省庁、自治体、関係業界団体等の各所へのコミッショニングとは何か、カーボンニュートラルに向けての必要性などを説明し理解を深めていただく。その際には、「カーボンニュートラル達成へ向けたコミッショニング（Cx）のススメ（BSCA作成）」や「成功事例集」を資料として活用することが有効であると思われ、「ススメ」のブラッシュアップ、「成功事例集」の作成などを行う。

c) 他団体との協働活動参画

国立研究開発法人建築研究所（建研）および一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター（IBECs）が企画・運営する「住宅・非住宅建築物の省エネルギー・脱炭素・室内環境のための技術体系に関する研究 ― 実証データに基づく技術開発プロジェクト（自立循環プロジェクトフェーズ8） ― 未評価技術の省エネルギー設計・調整・試験方法に関する検討委員会」に、昨年度に引き続き、当協会から吉田名誉理事長が委員長として、また柳原理事長、赤司副理事長、松下理事の3名および会員の山田博氏、吉原毅氏（2025年8月以降を予定）の2名が委員として参画し、Cx手法を適用した未評価技術に対する省エネルギー評価手法の検討を行う。

今年度は、変風量空調システム（VAVシステム）の技術解説書の最終的な取りまとめを行うとともに、これを基にした任意評定の準備を進める。また、昨年度から着手したCO2濃度制御の技術解説書の作成も継続する。

(4) 基準の制定・検証事業

a) 建築設備コミッシュンングマニュアル改訂委員会

2016 年度に発行した「建築設備コミッシュンングマニュアル」の簡易改訂の中で挙げた「Cx の普及に向けてプロセスを整理し、より適切な解説にすべき」などの意見について編集した改訂第 5 版を発刊する。

また、実際のコミッシュンングで作成された各種文書を抽出し、マニュアルの文書事例として編纂し、当協会のホームページで公開する。

b) 田園都市線駒沢大学駅空調設備更新に伴うコミッシュンング（適正化フェーズ）

- ・ 委託機関：東急電鉄（株）
- ・ 事業実施：2025 年 4 月～2026 年 3 月
- ・ 担当者：吉田治典（CA）、木虎久隆（幹事）、柳原隆司、山本雄二、西山 満、岡 敦郎

田園都市線駒沢大学駅リニューアル工事の Cx を継続して行う。前年度に実施した機能性能確認試験の結果を踏まえ適正化を行う。

c) R7 年度国土交通省 環境・ストック活用推進事業（調査、普及・広報に関する事業）

- ・ 委託機関：国土交通省
- ・ 事業実施：2025 年 4 月～2026 年 3 月
- ・ 担当者：理事、会員、関係団体等よりの委員

2024 年度に作成した、コミッシュンングプロセスの有用性を建物所有者に周知し理解を深めることを目的とした「建物所有者向けの建築設備コミッシュンングガイドライン」の活用により、既存建物（業務用建築物）における運用段階の更なる省エネルギー実現、建築ストックのカーボンニュートラル化に資するため、2025 年度は以下の活動を行う。

- (1)建物所有者への Cx の広報
- (2)建物所有者が Cx プロセスを実施する際のハードルの緩和策の検討
- (3)Cx プロセスが普及するための Cx 資格者・事業者の拡充などの実施体制の強化

d) 事業委員会活動

昨年度に引き続き、当協会に寄せられる Cx プロジェクトの相談対応方法について議論を行う。また、昨年度から進めている、紹介可能な CxF を増やすための登録要件の見直しについて、今年度も引き続き検討を実施する。

(5) 共催・協賛事業

他団体への共催、後援、協賛事業により Cx の普及を目指す。

4. 活動予算

様式例・記載例（法第28条第1項「前事業年度の計算書類（活動計算書）」）

2025年度予算

建築設備コミッションング協会

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位：円)

科 目	2025年度予算	2024年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
I 経常収益				
1 受取会費				
入会金収入	100,000	65,000	35,000	
正会員受取会費	2,300,000	2,250,000	50,000	
賛助会員受取会費	6,000,000	5,100,000	900,000	
計	8,400,000	7,415,000	985,000	
2 受取寄附金				
受取寄附金	0	0	0	
計	0	0	0	
3 受取助成金等				
受取民間助成金	0	0	0	
計	0	0	0	
4 事業収益				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	840,000	560,000	280,000	
CxTE研修会(東京・WEB)	325,000	365,000	-40,000	
CxTE研修会(実務)	700,000	700,000	0	
Cx事例シンポジウム(関西)	700,000	550,000	150,000	
Cx事例シンポジウム(東京)	600,000	610,000	-10,000	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	0	0	0	
Cx事例シンポジウム(中部)	400,000	560,000	-160,000	
ACSESS/Cxワークショップ	240,000	240,000	0	
マニュアルの頒布	200,000	200,000	0	
技術交流会	150,000	150,000	0	
Cx 集い	135,000	200,000	-65,000	
小計	4,290,000	4,135,000	155,000	
2. 普及事業	0	0	0	
3. 研究・支援事業	0	0	0	
技術委員会	0	0	0	
小計	0	0	0	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	6,600,000	12,000,000	-5,400,000	
既存建物省エネルギー省Co2	20,000,000	20,000,000	0	
小計	26,600,000	32,000,000	-5,400,000	
5. その他				
小計	0	0	0	
計	30,890,000	36,135,000	-5,245,000	
5 その他収益				
受取利息	10,000	374	9,626	
雑収益	0	0	0	
計	10,000	374	9,626	
経常収益計	39,300,000	43,550,374	-4,250,374	

科 目	2025年度予算	2024年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
Ⅱ 経常費用				
1 事業費				
1. 人材育成事業				
CxPE研修会	1,160,000	1,060,000	100,000	
CxPE座談会	216,000	216,000	0	
CxTE研修会(東京ZOOM)	115,000	300,000	-185,000	
CxTE研修会(実務)	505,000	690,000	-185,000	
Cx事例シンポジウム(関西)	520,000	520,000	0	
Cx事例シンポジウム(東京)	300,000	300,000	0	
アジア太平洋Cxシンポ(東京)	3,000	2,500	500	
Cx事例シンポジウム(中部)	400,000	420,000	-20,000	
ACSES/Cx公開ワークショップ	225,000	225,000	0	
マニュアルの頒布	100,000	100,000	0	
総会付帯講演会	90,000	60,000	30,000	
技術交流会	230,000	230,000	0	
Cx 集い	135,000	200,000	-65,000	
資格判定委員会	180,000	360,000	-180,000	
計	4,179,000	4,683,500	-504,500	
2. 普及事業				
ホームページ	520,000	670,000	-150,000	
コミッションングレターの発行	100,000	210,000	-110,000	
空調調和・衛生工学会大会ブース出展	100,000	180,000	-80,000	
CxF登録制度小委員会	50,000	50,000	0	
企画・運営委員会及び広報担当	200,000	200,000	0	
計	970,000	1,310,000	-340,000	
3. 研究・支援事業				
海外調査	200,000	200,000	0	
技術委員会	100,000	2,000,000	-1,900,000	
計	300,000	2,200,000	-1,900,000	
4. 基準制定事業				
東急電鉄Cx 駒沢大学	10,200,000	16,200,000	-6,000,000	
既存建物省エネルギー省Co2	20,000,000	20,000,000	0	
事業委員会	100,000	1,140,000	-1,040,000	
マニュアル校正	350,000	700,000	-350,000	
計	30,650,000	38,040,000	-7,390,000	
5. その他				
計	0	0	0	
事業費計	36,099,000	46,233,500	-10,134,500	

科 目	2025年度予算	2024年度予算		備考欄
	特定非営利活動	特定非営利活動事業	増減額	
2 管理費				
旅費交通費	280,000	200,000	80,000	
通信運搬費	900,000	860,000	40,000	
消耗品費	100,000	100,000	0	
什器備品	100,000	100,000	0	
会議費	300,000	350,000	-50,000	
印刷製本費	100,000	100,000	0	
租税公課	600,000	586,092	13,908	
支払手数料	60,000	120,000	-60,000	
雑給	0	0	0	
諸会費	100,000	100,000	0	
家賃	402,600	402,600	0	
修繕費	0	0	0	
予備費	0	0	0	
支払報酬	420,000	420,000	0	
事務外注費	4,600,000	4,600,000	0	
事務管理費	250,000	300,000	-50,000	
減価償却費	0	502,518	-502,518	
管理費計	8,212,600	8,741,210	-528,610	
経常費用計	44,311,600	54,974,710	-10,663,110	
I, II 当期経常増減額	-5,011,600	-11,424,336	6,412,736	
III 経常外収益				
1 固定資産売却益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
IV 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
III, IV 当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期正味財産増減額	-5,011,600	-11,424,336		
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000		
当期正味財産増減額	-5,081,600	-11,494,336		
前期繰越正味財産額	53,138,932			
次期繰越正味財産額	48,057,332			

第3号議案「役員の選任に関する事項」

1. 理事退任に関する事項

理事 柳原隆司君

以上、1 名

理由 本人からの申入れによる

2. 理事の新任に関する事項

理事 山羽基君

以上、1 名

理由 理事会からの推薦による

山羽基君の略歴

1959 年生

現職 中部大学 工学部 建築学科 教授

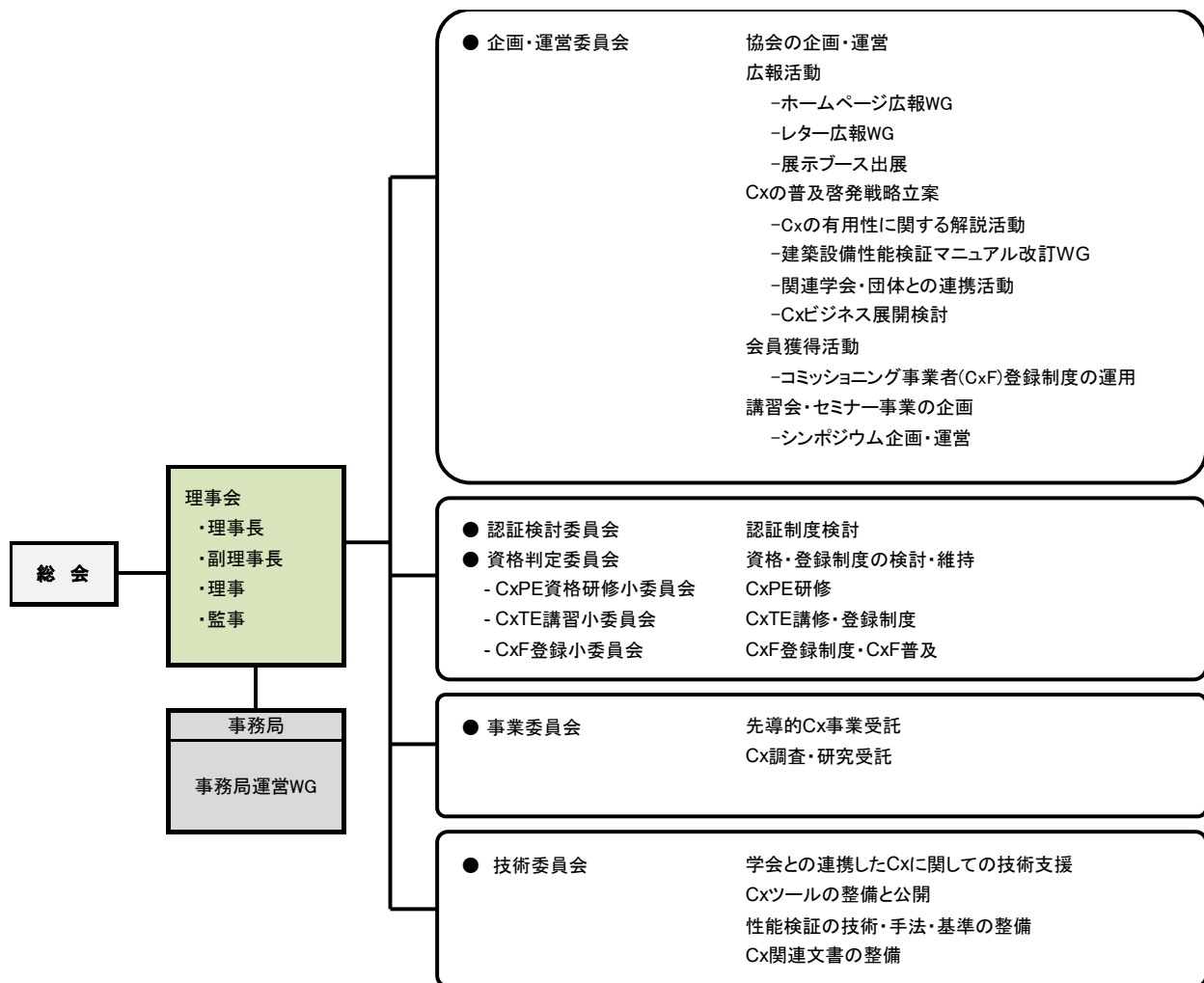
経歴 1985 年～1989 年 日立プラント建設

1989 年～1995 年 名古屋大学

1995 年～現在 中部大学

参考

[組織図]



BSGA 特定非営利活動法人
建築設備コミッショニング協会
Building Services Commissioning Association

〒559-0034

大阪市住之江区南港北 2-1-10ATC/ITM 棟 11 階
Tel: 06-6614-0880 Fax: 06-6616-7098

URL: <http://www.bsca.or.jp/>